

## カワセミ（カワセミ科） 全長 17センチ

神宮寺の大浦沼から流れ出る水路は、コンクリートで三面舗装された頑丈な造りとなっている。一見すると魚や野鳥が棲みにくそうな環境に見えますが、そうでもないようだ。完成後かなりの年数が経過し、水路の底には泥が堆積し水草も生えています。

どこからやって来たのか、カワセミの狩りが見られるようになった。川底は浅く流れも緩やかです。この小魚を狙って若いカワセミが現れました。幼鳥2羽と成鳥1羽が次々と飛来した。幼鳥はコンクリートの縁に陣取り、獲物にじっと狙いを付け一気に飛び込んだ。



狙いを定めているようだ。

何回か魚を捕らえていたが、確率は高いようだ。

これを見ていたハクセキレイの幼鳥が、直ぐそばまで近づいてきた。違う種であり、嫌がって追い払うか、自分で飛び去るのが普通です。

しかしどちらも気にしていません。ハクセキレイは尾羽を上下しながら、カワセミを見つめているようにも見えます。



小さな魚を持ってきた。



ハクセキレイが近寄って来た。

その後何回か飛び去っては、また側に戻ってきます。

どちらも若鳥であり警戒心があまりなく、同じ仲間だと思っているのでしょうか。なんとなく微笑ましい光景でした。



仲がよさそうです。



羽ばたき。